

東海ろうきんのプロフィール (2019年3月末)

創 立	1952年10月 2000年10月1日、愛知労働金庫、三重県労働金庫、岐阜県労働金庫が合併し、「東海労働金庫」誕生
本 店	愛知県名古屋市中区新栄一丁目7番12号
出資金	53億円
常勤従業員数	638名
店舗数	42店舗(バーチャル店舗含む)
会員数	5,066会員(うち団体会員数3,122会員)
間接構成員数	1,326,414人
主要動定	預 金 / 1兆7,122億円 (譲渡性預金を含む) 貸 出 金 / 1兆4,645億円 (住宅ローン証券化分を除く) 経 常 利 益 / 39億円 当 期 純 利 益 / 29億円 有 価 証 券 / 807億円

自己資本比率(単体)

9.41%

(国内基準である4%を大きく上回っています。)

リスク管理債権比率

0.38%

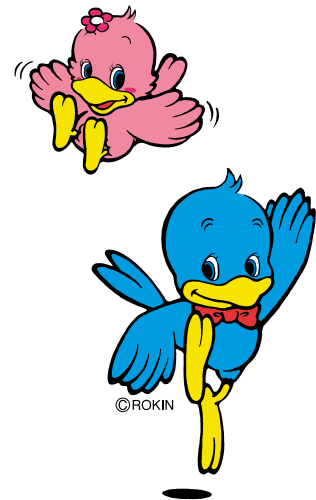
(不良債権はほとんどありません)

格付

A

(株)格付投資情報センター
(R&I)

第三者である格付機関からも東海ろうきんの健全性が認められています。



全国ろうきんの概要 (2019年3月末)

金 庫 数 / 13金庫	間接構成員数 / 11,310,317人
店 舗 数 / 620店舗	出 資 金 / 954億円
常勤従業員数 / 11,170人	預 金 / 20兆3,612億円 (譲渡性預金を含む)
会 員 数 / 123,376会員 (うち団体会員数51,381会員)	貸 出 金 / 13兆5,563億円 (住宅ローン証券化分を除く)

ろうきん業態セーフティネット

お客様の預金を守る公的なセーフティネットとして「預金保険制度」があります。ろうきんでは、この「預金保険制度」とは別に、ろうきん業態独自のセーフティネットを用意しています。1番目の柱は、全国労働金庫協会(労金協会)および労働金庫連合会(労金連)による定期的な経営状況のモニタリングと労金協会内の労働金庫監査機構による監査です。経営上の問題が認められる場合には、その問題の程度に応じて必要な措置を講じ、問題の早期改善を図ることとしています。また、労働金庫監査機構は全国ろうきんの監査を実施し、指導を行っています。2番目の柱は、労金連の金融機能を活用した「ろうきん相互支援制度」です。万一、ろうきんに経営上の問題が生じ、支援が必要となった場合には、労金連が緊急資金の貸出しや資本注入、資金援助等を行うことにより経営をサポートします。

